主催：応用物理学会微小光学研究会

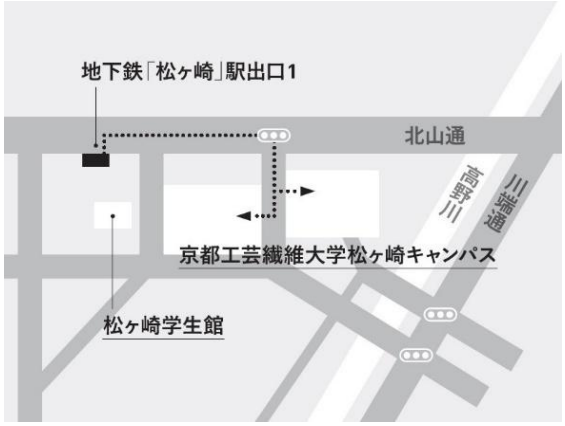
第 177 回微小光学研究会
「表示技術とイメージングの新展開」

表示技術とイメージングは，高次の観測・可視化，そしてスマート社会の実空間と仮想空間をつなぐ重要な基盤技術です．これらの技術は，物理・材料・デバイスなど多様な分野の融合を通じて，高機能化と応用の新たな展開を実現しています．本研究会では，次世代を拓く表示技術とイメージングの両面の視点から，物理，材料，デバイス，システムといった各技術層における最先端の動向を取り上げます．本分野の第一線の研究者による講演を通じて，表示技術とイメージングの現状を概観し，将来の技術を展望する機会とします．

日時： 2025 年 12 月 22 日(月)13:00-17:10

会場： 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス 60 周年記念館
1F 記念ホール **（オンライン同時開催予定）**
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
https://www.kit.ac.jp/uni_index/access/

交通： 京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎」駅より徒歩 8 分．
＜JR・近鉄＞「京都」駅から地下鉄烏丸線
「国際会館」行きに乗換，「松ヶ崎」駅まで約 18 分．



プログラム

13:00-13:10 開会の挨拶
13:10-13:40 みんなに届く大空からのメッセージ－ドローン×レーザー投影－ 石野正人（大阪大）
13:40-14:10 メタサーフェスホログラフィによるフルカラー動画投影 岩見健太郎（東京農工大）
14:10-14:40 体積映像を実世界へ：レーザー励起による発光と光散乱 熊谷幸汰（宇都宮大）
14:40-15:00 ＜休憩＞
15:00-15:30 符号化開口を用いたレンズレスイメージング 中村友哉（大阪大）
15:30-16:00 小型で高画質な広視野カメラの実現に向けた湾曲 CMOS イメージセンサ 後藤正英（NHK 技研）
16:00-16:30 マルチメガピクセル 3 次元積層電荷収集型 SPAD イメージセンサ 岩田旬史（キヤノン）
16:30-17:00 強度輸送方程式を用いた高速物体の非干渉 3 次元イメージング 粟辻安浩（京都工繊大）
17:00-17:10 閉会の挨拶

参加費（消費税込．予稿集代含む）： 応用物理学会会員 4,000 円，非会員 5,000 円
学生・シニアの応用物理学会会員 1,000 円，学生・シニアの非会員 2,000 円
参加申込： 要事前申込．https://www.comemoc.com/ よりお申込ください．
（開催日の数日前に予稿集と請求書を郵送いたしますので，参加費を後日お支払いください．）
担当委員： 河野（三菱電機），國分（ものつくり大），佐藤（NTT），濵口（九州大），宮本（東京科学大），裏（京都工繊大）
問合せ先： office■comemoc.com （■を@に換えてください）
微小光学研究会 代表：伊賀健一 運営委員長：波多腰玄一 実行委員長：宮本智之
副代表：中島啓幾 運営副委員長：横森清
※プログラムは微小光学研究会のウェブサイト https://www.comemoc.com/ でもご覧いただけます．
※オンライン同時開催予定です．現地会場における聴講は先着順のため，会場の定員（100 名）に達する場合はオンライン聴講となりますのでご了承ください．